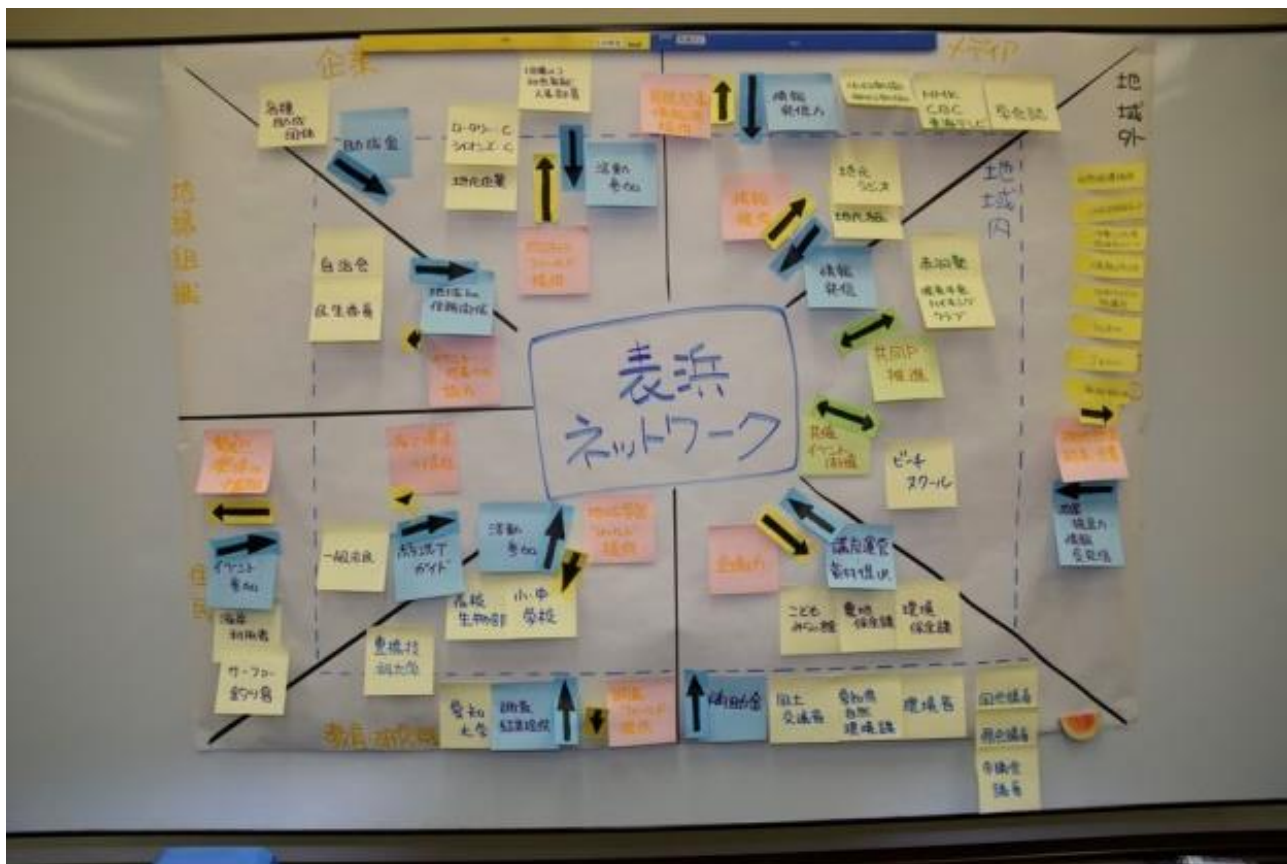


■分科会 B

「水辺環境のネットワークをデザインしよう」というテーマのもと、NPO 法人理事・職員や自治体職員、中間支援機関職員など 7 名が参加しました。話題提供者の NPO 法人表浜ネットワーク事務局長の田中氏からは、活動の収入源となる自主事業の作り方や地域住民との課題認識のギャップについて、また、政策提言の必要性などの課題について、参加者と意見交換が行われました。



「地域の方は地域の魅力や課題に気づきにくいいため、収益事業を行うのなら地域外と連携してすすめると良いのでは」、「地域の大人と課題共有するのは大変だが、子供や地域外の人に伝え、そこから大人へ伝わることで意識が変わることがある」など誰とネットワークを築いていくかという点に参加者から意見が挙がりました。また、「パッケージされたコンテンツを作ると行政も連携の話を持って行きやすい」「地縁組織の加入者が減っているのは役が負担となること。その負担を軽減できるような提案を地縁組織に持ちかけると連携関係が作れるのでは」といった、連携を可能にするために有効と思われる事柄についても、参加者各自の経験や知識に基づく情報交流、相互提案が行われました。



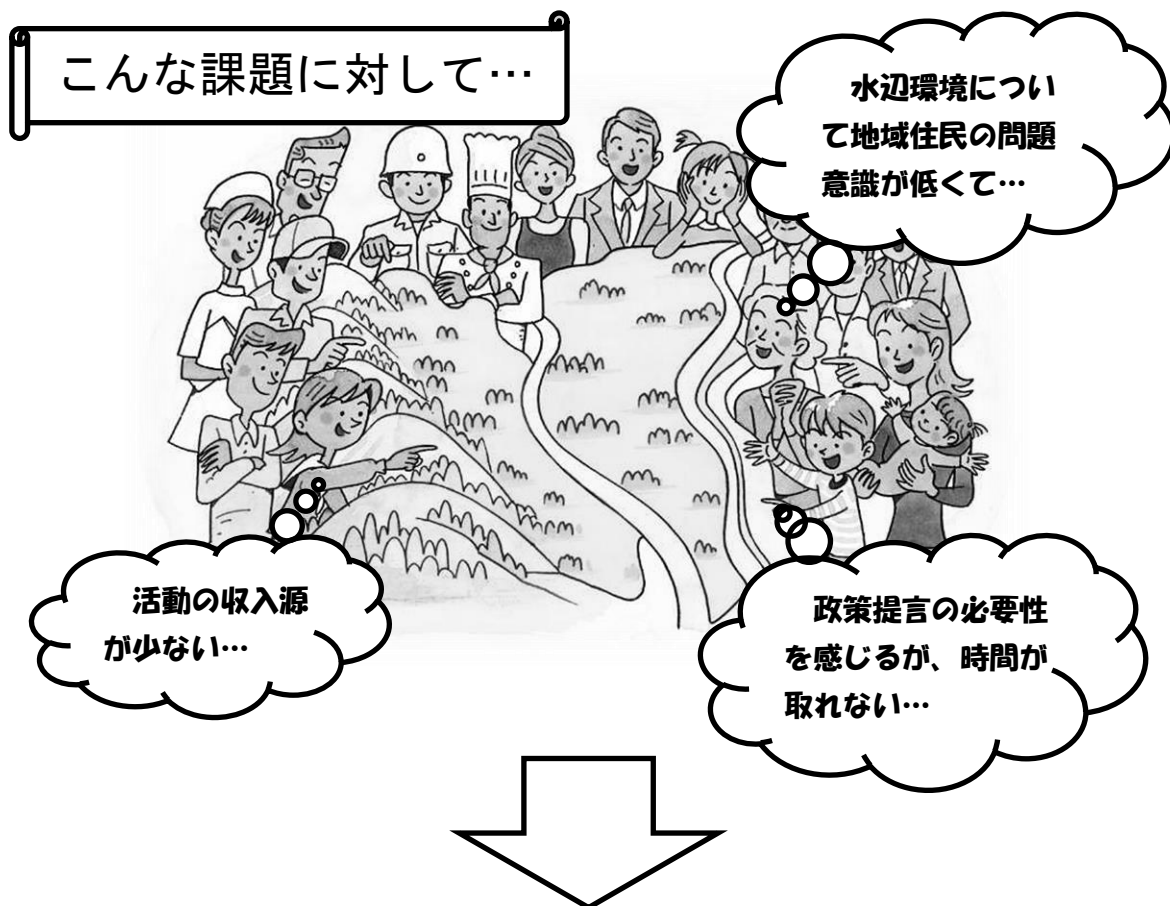
↑ 分科会 B ネットワーク 相関図

分科会B

『水辺環境のネットワークをデザインしよう』

～水辺環境の問題がみんなの問題になるためには？～

☆話題提供者 NPO法人 表浜ネットワーク☆



表浜ネットワークではこんなことができました！

- ・ 行政と連携した市民ガイド養成講座
- ・ 地域内外の企業と連携し、従業員の福利厚生を兼ねたボランティア受入事業を実施
- ・ 地域外のNPOと連携し、行政へ政策提言

愛知県豊橋市、田原市、静岡県湖西市にまたがる表浜海岸を、環境の変化から守るために、地域内外の協力者と連携しながら海岸保護活動を行う表浜ネットワーク。

そのネットワークづくりを参考に、水辺環境に関する課題解決を進めていくためのネットワークのつくり方を皆で考えます。

水辺環境の問題をみんなの問題にすることは、誰とどんなつながりを持つことで実現するのでしょうか？ 皆さんの意見を持ち寄って考えます。